

H19年3月議会 委員会質疑より抜粋

◆八西地域総合情報センターについて

Q 八西CATVの財政状況と地上デジタル放送への対応、それに伴う費用はどのくらいかかるのか？

A 現在平成17年度の決算額で、収入約4億4千万円、支出約3億円で差し引き、約1億4千万円の黒字です。

繰越金は18年度の決算見込みで11億5千989万1千円あります。

CATV関係の地上デジタル放送転換費用は、概算の事業費で約27億円を見込んでいます。

約11億6千万円の繰越金にも少し驚いたのですが、地デジ対応費用にも驚かされました。事業費の足りない分を現在の契約者八幡浜市、伊方町、西予市三瓶町併せて約1万6千世帯の加入者で割ると1世帯10万円の負担となります。そんなことにはならないでしようが、八西CATV運営の転換期になりえる問題でもあります。今後のCATVの有効活用を含め地域に根ざした八西CATVであって欲しいと願います。



「相信会」設立

八幡浜市議会議員有志で作る会「相信会」が2月20日に立ち上がりました。この会の性格としては政策課題や議会運営等についての意見交換、研修会を主に勉強する超党派の会であります。



まずは水産港湾ビジョンや病院改築ビジョンについての研究及び市民の皆様信頼される議会運営の確立を目指します。

大城一郎の 議員報酬公開

平成19年3月分	
支給額	321,000
共済掛金	41,600
所得税	45,600
相信会会費	10,000
差し引き額合計	97,200

差引支給額 ¥223,800

編集後記

九州から東北地方まで広範囲で黄砂が観測されました。この八幡浜地方も視界が悪く黄色いかすみに包まれました。八幡浜市議会においても、議長の任期問題でかすみがかかった状態ともいえます。

私が議員になる少し前から付け始めたノートがあります。議長選出を振り返ってみるとグループ内正副議長経験者5名による選考委員会の結果、宮本明裕議員が議長と決まりました。その後、現宮本議長が「公明に選出を受けたことに感謝し、長年の経験を生かして議会の信頼回復と融和のため誠実に努力したい、そして議長は県議会方式でやりたい」と挨拶をされたのを、記しています。

本来議員の本来である、議員・議会は理事者(市長)に対する包括的監視機能の構築(議論)に精励すべきです。議会内における無意味な対立軸は解消し早急に信義を通し融和を図り、本来の在るべき姿への軌道修正が必要であると思います。

未来の八幡浜市を素晴らしいかたちとして次世代へ繋げて行く為にも、これからの投資は身の丈にあった実り多いものにしていかなければなりません。そのためには、かすみの取れた清々しい青空(議会)を取り戻したいものです。